

サイバーエージェント次世代生活研究所が「Z世代ヒットトレンドランキング2025」を発表、
1位は「エッホエッホ」で、TOP30のうちTikTok発のトレンドが1/3以上を占める結果に

～さらに、「Z世代」と「その上の世代」のジェネレーションギャップを生んでいる情報源は
TikTokとABEMAのオリジナル恋愛リアリティーショーということが明らかに～



株式会社サイバーエージェント(本社:東京都渋谷区、代表取締役:藤田晋、東証プライム市場:証券コード4751)はインターネット広告事業の「サイバーエージェント次世代生活研究所」において、昨年に続き2025年のZ世代ヒットトレンド調査を実施いたしました。Z世代本人が2025年に流行ったと実感する「Z世代ヒットトレンドランキング2025」を発表します。

メディアや情報環境が多様化し、流行語やヒット商品などのトレンドが多様化・細分化する中、注目を浴びる“Z世代の間で本当に流行ったもの”を明らかにするとともに、全国のZ世代およびそれより上の世代における定量調査の結果を比較することで、“Z世代とその上の世代の間に存在するジェネレーションギャップ”も明らかにしました。

調査ランキング項目

<総合ランキング>

1. **Z世代ヒットトレンドランキング2025 TOP30**
2. ジェネレーションギャップランキング TOP10
Z世代(17~28歳)と上世代(29~60歳)の比較

＜各部門ランキング＞

※「Z世代ヒットトレンドランキング2025」の基になった各部門のランキング

3. Z世代ヒットニュースランキング(政治)
4. 言葉部門
5. 有名人・インフルエンサー部門
6. アーティスト部門
7. TikTok音源部門
8. TikTok部門
9. X部門
10. ゲーム・アプリ・ウェブコンテンツ部門
11. 漫画・アニメ部門
12. 映画・ドラマ・配信コンテンツ部門
13. 美容・ファッション部門
14. 雑貨部門
15. 食べ物・飲み物部門

各項目の結果概要

1. **Z世代ヒットトレンドランキング2025 TOP30**

2025年

Z世代 ヒットトレンドランキング TOP 30

Q. 以下のうち、「2025年に流行った」と思うものを全てお選びください

1 エッホエッホ 48.1%	11 ライラック (ナルトダンス) 33.0%	21 お返事まだカナ？ おじさん構文！ 22.1%
2 Nintendo Switch 2 43.6%	12 イイじゃん M!LK 30.7%	22 タコピーの原罪 22.0%
3 劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猊窩座再来 40.8%	13 もんた 30.3%	23 西山グディグディ 21.7%
4 国宝 40.5%	14 ミヤクミヤクのキーホルダー ・ぬいぐるみ 30.3%	24 長浜広奈 20.7%
5 EXPO2025 大阪・関西万博 40.5%	15 ラブぬいぐるみ キーチェーン 29.9%	25 今日、好きになりました。 マクタン・ハロン・夏休み編 20.1%
6 倍倍 FIGHT ! CANDY TUNE 37.9%	16 HANA 27.2%	26 超最強 超ときめき♡宣伝部 18.9%
7 8番出口 (映画) 36.1%	17 マコモ湯構文 24.5%	27 みさえドアを開けなさい 18.9%
8 ○○ちゃん、 何が好き？ 35.4%	18 Pokémon Trading Card Game Pocket 24.4%	28 怒りマーク 18.6%
9 ○○すぎて、死ぬウ！ 35.3%	19 チ。-地球の運動について- 22.9%	29 大沢たかお祭り 18.4%
10 もっちゅりん 33.7%	20 CUTIE STREET 22.3%	30 とくベチュ、して =LOVE 17.9%

サイバーエージェント次世代生活研究所調べ
※類似項目は回答結果が高い方を抜粋

調査期間：2025/10/17～2025/10/19 全国のZ世代（17～28歳）1,236人に対して調査

2025年、Z世代の間でヒットしたトレンドTOP5は以下の通りです。

- 1位 エッホエッホ（「○○に○○って伝えなきゃ」で始まるTikTokチャレンジ・48.1%）
- 2位 Nintendo Switch 2（Nintendo Switchの後継機種・43.6%）
- 3位 劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猊窩座再来（映画『鬼滅の刃』無限城編の第一作・40.8%）
- 4位 国宝（歌舞伎役者の道を歩む喜久雄の50年の物語を描いた映画・40.5%）
- 5位 EXPO 2025大阪・関西万博（大阪で開催された国際博覧会・40.5%）

Nintendo Switch 2(43.6%)や劇場版『鬼滅の刃』(40.8%)、映画『国宝』(40.53%)、「大阪・関西万博」(40.45%)といった、世代を問わず流行した国民的コンテンツ・イベントがトップ5を占めました。

なお上位30項目のうち3分の1以上の12項目がTikTok発となり、昨年に引き続き、Z世代にとってTikTokがトレンドの中心となっていることが明確になった1年となりました。

※TikTok発の流行は以下です。

- 1位 エッホエッホ(「○○に○○って伝えなきゃ」で始まるTikTokチャレンジ・48.1%)
- 6位 倍倍FIGHT！(CANDY TUNEの楽曲・37.9%)
- 8位 ○○ちゃん、何が好き？(AiScReamの楽曲『愛♡スクリ〜ム！』発祥の構文・35.4%)
- 9位 ○○すぎて、死ぬー！(TikTokで流行した、強い感情を表す構文・35.3%)
- 11位 ライラック(TikTokで流行した「ナルトダンス」で使われたMrs. GREEN APPLEの楽曲・33.0%)
- 12位 イイじゃん(M!LKの楽曲・30.7%)
- 17位 マコモ湯構文(「○年間○○していません！」から始まるTikTokトレンド・24.5%)
- 21位 お返事まだカナ？おじさん構文！(TikTokで流行した「おじさん構文」をテーマにした楽曲・22.1%)
- 23位 西山ダディダディ(過去にTikTokで流行した竹内ダディダディのオマージュ・21.7%)
- 27位 みさえドアを開けなさい(TikTokで流行した野原ひろしの声真似創作音源・18.9%)
- 28位 怒りマーク(TikTokで流行した「イ・イ・イライラ」から始まる音源・18.6%)
- 30位 とくベチュ、して(「好きなところ〜」のフレーズ話題の＝LOVEの楽曲・17.9%)

また、今年の特徴として、**KAWAII LAB.**(2022年に発足したアソビシステムによるアイドルプロジェクト)所属グループを始めとした、女の子らしいテイストの女性アイドルグループがZ世代の心を掴みました。該当のグループ・楽曲・関連するTikTokトレンドが5つランクインしています。

※該当の女性アイドルグループの流行は以下です。

- 6位 倍倍FIGHT！(CANDY TUNEの楽曲・37.9%)
- 8位 ○○ちゃん、何が好き？(AiScReamの楽曲『愛♡スクリ〜ム！』発祥の構文・35.4%)
- 2位 CUTIE STREET(KAWAII LAB.の8人組アイドル・22.3%)
- 26位 超最強(「スマホのカメラロールなんて」のフレーズで話題の超ときめき♡宣伝部の楽曲・18.9%)
- 30位 とくベチュ、して(「好きなところ〜」のフレーズ話題の＝LOVEの楽曲・17.9%)

なお今年は、**ABEMA**のオリジナル恋愛リアリティショー『今日、好きになりました。』関連の項目が3つランクインしており、Z世代の注目を集めたことが分かります。

※ABEMAのオリジナル恋愛リアリティショー『今日、好きになりました。』関連の項目は以下です

- 13位 もんた(『今日、好きになりました。』出演の個性的な男子高校生・30.3%)
- 24位 長浜広奈(「おひなさま」の愛称で親しまれる『今日、好きになりました。』出演の女子高校生・20.7%)
- 25位 『今日、好きになりました。マクタン・ハロン・夏休み編』(ABEMAオリジナル恋愛リアリティショー・20.1%)

また、今年は例年上位にランクインしている韓国発のトレンドが上位に入らなかったことも、変化の1つと言えます。

なお、本Z世代ヒットトレンドランキングは、2023年より調査をおこなっております。過去のランキング一覧はこちらを参照ください。

「Z世代ヒットトレンドランキング2024」

<https://www.cyberagent.co.jp/news/detail/id=31162>

「Z世代ヒットトレンドランキング2023」

<https://www.cyberagent.co.jp/news/detail/id=29595>

2. ジェネレーションギャップランキング TOP10



※Z世代と上世代の差の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

「Z世代(17~28歳)」と「上世代(29~60歳)」の回答の差(Z世代の数値 - 上世代の数値)を示した「ジェネレーションギャップランキング」の結果はランキングの通りです。

なお、ジェネレーションギャップが大きいトレンド上位10項目のうち、7つがTikTok発のトレンドでした。また、ABEMAオリジナル恋愛リアリティーショー『今日、好きになりました。』の関連が2つランクインしています。

本調査より、TikTokとABEMAのオリジナル恋愛リアリティーショーは「Z世代」と「上世代」とのジェネレーションギャップを生んでいる情報源であることが明らかになりました。

※TikTok 発の流行は以下です。

- 1位 ○○すぎて、死ぬぅ！（TikTokで流行した、強い感情を表す構文・差27.1pt）
- 3位 ○○ちゃん、何が好き？（AiScReamの楽曲『愛♡スクリ〜ム！』発祥の構文・差24.0pt）
- 4位 ライラック（TikTokで流行した「ナルトダンス」で使われたMrs. GREEN APPLEの楽曲・差23.2pt）
- 5位 倍倍FIGHT！（CANDY TUNEの楽曲・差22.4pt）
- 6位 マコモ湯構文（「○年間○○していません！」から始まるTikTokトレンド・差21.9pt）
- 7位 エッホエッホ（「○○に○○って伝えなきゃ」で始まるTikTokチャレンジ・差19.7pt）
- 8位 お返事まだカナ？おじさん構文！（TikTokで流行した「おじさん構文」をテーマにした楽曲・差18.4pt）

ABEMAのオリジナル恋愛リアリティーショー『今日、好きになりました。』関連の項目は以下です。

- 2位 もんた（出演の個性的な男子高校生・差26.3pt）
- 24位 長浜広奈（「おひなさま」の愛称で親しまれる出演の女子高校生・差17.9pt）

3. Z世代ヒットニュースランキング（政治）



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代にとって最も大きなニュース（政治編）TOP10は、ランキングの通りです。

1位の「令和の米騒動」（2024年から2025年にかけて起きた米不足と価格高騰・30.7%）は、世代問わず高い関心を集めた国難でした。

- 1位 ○○すぎて、死ぬう！（TikTokで流行した、強い感情を表す構文・35.3%）
 2位 マコモ湯構文（「○年間○○していません！」から始まるTikTokトレンド・24.5%）
 4位 オイラが行くしかねえな（芸人マユリカの1人劇場内のセリフをアレンジしたネットミーム・15.5%）

※ABEMA発のトレンドは以下です。

- 5位 ひな？やったー（『今日、好きになりました。』出演の長浜広奈が発言した言葉とポーズ・13.3%）
 7位 まずは、ありがとう（『今日、好きになりました。』告白シーンで相手を振る時の最初のセリフ・12.5%）
 10位 エロがりを奏でる（ABEMAの番組『愛のハイエナ』出演で話題のホスト、爆撃竜馬が生み出した言葉・9.1%）

5. 有名人・インフルエンサー部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行した有名人・インフルエンサーは、ランキングの通りです。

また、テレビで活躍する俳優やタレント、芸人よりも、インフルエンサーが上位にランクインしていることから、Z世代にとってテレビによる影響力よりもSNSやABEMAの影響が大きいことが分かります。

ABEMAのオリジナル恋愛リアリティーショー『今日、好きになりました。』出演者がTOP10のうち3つを占めています。

※ABEMA発のインフルエンサーは以下です。

1位 もんた(『今日、好きになりました。』出演の個性的な男子高校生・30.3%)

2位 長浜広奈(『今日、好きになりました。』出演の女子高校生・20.7%)

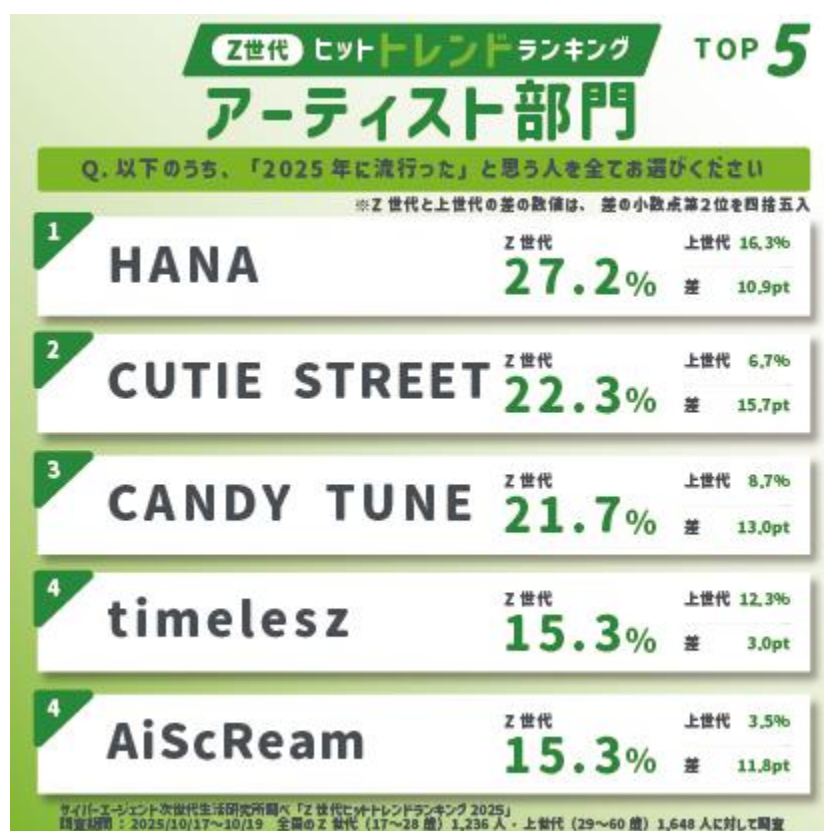
8位 希空(『今日、好きになりました。』で配信番組デビューした杉浦太陽・辻希美の娘・11.4%)

※その他のインフルエンサーは以下です。

5位 ブルーシー(「親友に〇〇させてみた」動画で人気の2人組TikToker・13.8%)

7位 アレン様(「アレン様構文」が話題になったマダムタレント・11.9%)

6. アーティスト部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行ったアーティスト部門では、アーティストのちゃんみなをプロデューサーに迎え、音楽プロダクションBMSGが主催・YouTubeで配信したガールズグループオーディション番組『No No Girls』からデビューしたアイドルグループ「HANA」(27.2%)が1位に。

1位の「HANA」と4位の「timelessz」(15.3%)のランクインから、国内オーディション番組から結成されたグループが人気であることが分かります。

また、2位の「CUTIE STREET」(楽曲『かわいいだけじゃだめですか?』がTikTokを中心に大ヒット)、3位の「CANDY TUNE」(楽曲『倍倍FIGHT!』がTikTokを中心に大ヒット)は、どちらも前述のKAWAII LAB.所属の姉妹アイドル。同率4位の「AiScReam」(デビュー曲『愛♡スクリ〜ム!』のフレーズがTikTokで流行した「ラブライブ!」から生まれた声優ユニット)も含め、リボンやフリルを取り入れたボリュームのある衣装が特徴的なアイドルが人気です。女の子らしいテイストの女性アイドルグループと、TikTokと相性の良い楽曲が人気のポイントになっています。

※国内オーディション番組関連の項目は以下です。

1位 HANA(YouTubeで放送されたオーディション番組『No No Girls』で誕生した女性アイドルグループ・27.2%)

4位 timelesz(Netflixで配信された新メンバー発掘オーディション企画『timelesz project』で新メンバー5名を迎え、8名体制となった男性アイドルグループ・15.3%)

※女性アイドルグループの項目は以下です。

2位 CUTIE STREET(楽曲『かわいいだけじゃだめですか?』がTikTokを中心に大ヒット・22.3%)

3位 CANDY TUNE(楽曲『倍倍FIGHT!』がTikTokを中心に大ヒット・21.7%)

4位 AiScReam(デビュー曲『愛♡スクリ〜ム!』のフレーズがTikTokで流行した「ラブライブ!」から生まれた声優ユニット・15.3%)

7. TikTok音源部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行ったTikTok音源はランキングの通りです。

女性アイドルグループの楽曲がTOP10のうち4つランクイン。Z世代の間ではこれらの楽曲と共に可愛らしいダンスチャレンジをTikTok上で楽しむ「KAWAII wanna be」現象が起きました。また、2位『愛♡スクリ〜ム！』（31.6%）や6位「西山ダディダディ」（2020年にTikTokで流行したミーム「竹内ダディダディ」のオマージュ・21.7%）は、コロナ以降みられなかった飲み会のコールとして、Z世代の間で広がったようです。

※女性アイドルグループの項目は以下です。

1位 倍倍FIGHT！（CANDY TUNEの曲・37.9%）

2位 愛♡スクリ〜ム！（「AiScReam」のデビューシングル・31.6%）

7位 超最強（「スマホのカメラロールなんて」のフレーズで話題の超ときめき♡宣伝部の楽曲・18.9%）

10位 とくベチュ、して（「好きなところ〜」のフレーズ話題の＝LOVEの楽曲・17.9%）

8. TikTok部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行ったTikTokトレンドはランキングの通りです。

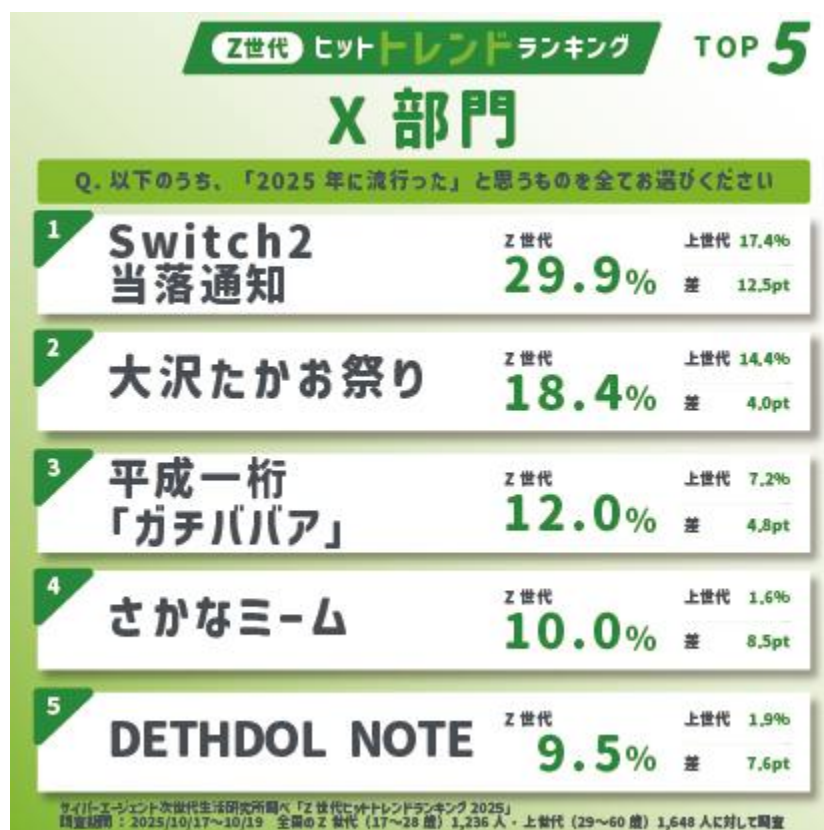
若者からの関心が高いアイドルや恋愛リアリティショーの他に、若者の関心が元々薄かった中国発祥のダンスや政治なども含め、幅広いジャンルがTikTokを通じて若者トレンドになっていることが読み取れます。

※若者の関心が元々薄かった項目は以下です。

3位 ナルトダンス(中国発のダンスミーム「科目三(Ke Mu San)」が日本のアニメ『NARUTO』のコスプレと組み合わせあって拡散された・29.9%)

5位 石破ミーム(突然何かを思い出した石破元総理のミーム・13.0%)

9. X部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行ったXトレンドはランキングの通りです。

本ランキングでは、Nintendo Switch 2が発売当初に行っていた抽選販売の結果通知をX上で投稿する「Switch2の当落通知」(29.9%)が1位になりました。続いて2位は、映画『キングダム』で人気キャラクター・王騎を演じた大沢たかおの印象的な表情がミームとして拡散された「大沢たかお祭り」がランクイン。X上では、若者主導のユーモア文化が、世代を超えた盛り上がりを見せました。

10. ゲーム・アプリ・ウェブコンテンツ部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

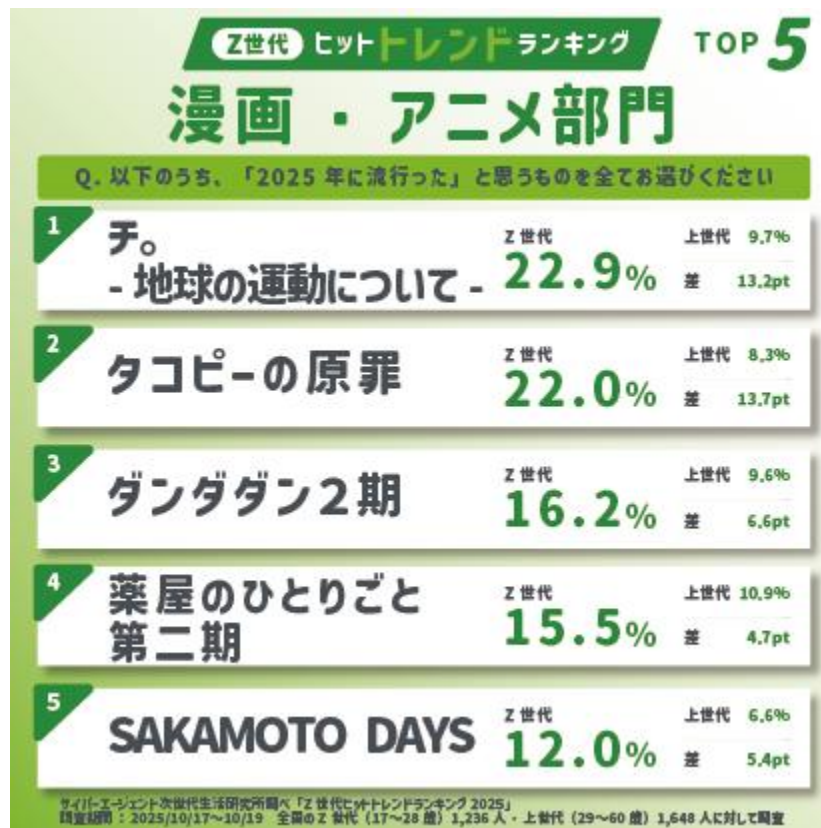
2025年、Z世代の間で流行ったゲーム・アプリ・ウェブコンテンツトレンドはランキングの通りです。

本ランキングでは、1位「Nintendo Switch 2」(43.6%)が圧倒的な関心を集めました。
2位以降においても、ポケモンシリーズやマリオなどがランクインし、任天堂の主力プラットフォーム・**Nintendo Switch 2**を中心にしたトレンドが生まれました。

※Nintendo Switch2関連の項目は以下です。

- 1位 Nintendo Switch 2(Nintendo Switchの後継機種・43.6%)
- 3位 マリオカートワールド(任天堂の人気ゲームタイトル『マリオカート』シリーズ11年ぶりの新作・17.2%)
- 4位 たまごっち ぷちぷちおみせっち おまちど〜さま! (バンダイナムコが発売したNintendo Switch用ゲームソフト・11.9%)
- 5位 Pokémon LEGENDS Z-A(任天堂の人気ゲームタイトル『ポケットモンスター』シリーズの最新作・10.9%)

11. 漫画・アニメ部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行った漫画・アニメ部門のトレンドはランキングの通りです。

2位『タコピ-の原罪』(22.0%)と5位『SAKAMOTO DAYS』(12.0%)は、漫画原作のアニメ化をきっかけに、SNSで大きく話題化。原作ファンが多いZ世代の間で、アニメ化による再評価と拡散が進んだと考えられます。

一方で、1位『チ。 - 地球の運動について -』(22.9%)、3位『ダンダダン 2期』(16.2%)、4位『薬屋のひとりごと 第2期』(15.5%)といった人気アニメの続編作品も上位に入りました。人気漫画のアニメ化と人気アニメの続編が上位5位を占めたことから、これまで多くの人に愛されてきた作品が、今年も強い支持を集めた1年だったと言えます。

12. 映画・ドラマ・配信コンテンツ部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行った映画・ドラマ・配信部門のトレンドはランキングの通りです。

本ランキングでは、国民的な人気を誇る大型シリーズや話題性の高い作品が上位を占めました。特に1位「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猗窩座再来」や、2位『国宝』、5位の「劇場版『名探偵コナン 隻眼の残像』」など、幅広い世代に認知されている作品がZ世代の間でも強い存在感を示しています。

3位『8番出口』は、もともと若者の間で流行したゲームが映画化され、再び注目を集めました。また、4位にはABEMAのオリジナル恋愛リアリティーショー『今日、好きになりました。マクタン・ハロン・夏休み編』がランクインしています。

13. 美容・ファッション部門

※本部門では、「Z世代女性（17～28歳）」と「上世代の女性（29～60歳）」の回答結果を掲載



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行した美容・ファッションのトレンドはランキングの通りです。

1位「耳つぼジュエリー」（耳ツボを刺激するシールを貼る施術・27.3％）は、耳ツボによる健康効果やリラックス効果を期待しながら、見た目の可愛さも楽しむことができる美容法として注目を集めました。また、3位「マンジャロ」（糖尿病患者に処方される注射薬で、若者の間では痩せ薬として流行・20.9％）も若年女性の間で話題になりました。安価な美容医療が普及したことの影響で、即効性や高い美容効果を求めるようになったZ世代女子の間では、医療や健康法を取り入れた美容が人気となっています。

2位に「メロい女メイク」（SNS上で「甘くて儂げな雰囲気」を演出する“メロい女”の画像を参考に再現するメイク法・21.8％）、4位には水光カラコン（瞳にうるおいと透明感を与えるカラコン・12.6％）、5位には「つり目×たれ眉メイク」（つり目とたれ眉を強調して儂げな表情を演出するメイク・10.8％）がランクイン。Z世代女子の間で“儂げな雰囲気”を演出するアイテムやメイク法が人気を集めていることが分かります。

14. 雑貨部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行した雑貨部門のトレンドは以下の通りです。

1位「ミyakミyakのキーホルダー・ぬいぐるみ」(30.3%)と、2位「ラブブぬいぐるみキーチェーン」(29.9%)は、カバンにぬいぐるみを取り付ける“ぬい活”の広がりを象徴するトレンドとなりました。また、傘やリップなど、他人のものと見分けがつきにくいアイテムに目印として主にキャラクターもののチャームをつける「めじるしアクセサリ」(11.9%)が4位にランクイン。若者の間でキャラクターIP需要が高まっています。

また、3位「シール帳」(シールを貼るための手帳・14.4%)や、5位「100均財布」(100円均一で売られている透明の財布・8.3%)といったアイテムは、いわゆる“平成女兒文化”を想起させるレトロかわいい雑貨として再評価されています。

15. 食べ物・飲み物部門



※Z世代の数値は、差の小数点第2位を四捨五入

2025年、Z世代の間で流行った食べ物・飲み物部門のトレンドはランキングの通りです。

1位「もっちりん」(ミスタードーナツの55周年を記念して販売された新食感のドーナツ・33.7%)は、発売当初から行列ができ、完売が続く人気ぶりでした。Z世代はこのドーナツを食べてみたいと熱心になりました。

また、2位「チョコマシュマロ」(薄いチョコレートでコーティングされたマシュマロ・10.1%)と、5位「食べる溶岩」(バーナーやオーブンで炙ったマシュマロが真っ赤に光る映像が溶岩のようだと話題に・7.5%)は、**ASMR**を中心に話題になりました。これにより、Z世代の間でのASMRの根強い人気を読み取れます。

【調査概要】

回答者：全国男女 17歳～60歳：2,884サンプル(年代・学年・性別毎に均等割付)

Z世代(17～28歳)の高校生・大学生・社会人：1,236サンプル

上世代(29～60歳)：1,648サンプル

調査期間：2025年10月17日(金)～10月19日(日)

調査主体：サイバーエージェント次世代生活研究所

調査手法:

①Z世代(17~28歳)30名への定性調査より、計340の「2025年に流行した」調査項目の洗い出し

②インターネットリサーチ

設問:あなたが「2025年に流行った」と思うものをすべてお答えください(複数回答可)

■「サイバーエージェント次世代生活研究所」について

Z世代を中心に消費者研究やZ世代向けマーケティングを行うなど、次世代生活について研究し、広告主企業における次世代のマーケティング施策立案の支援を行う研究組織です。2019年11月に本研究所を設立以降、広告主企業向けに、次世代生活に関する調査や若者たちへの調査・インサイト開発・プロモーション施策立案・商品開発などを行っており、次世代生活に関わる様々な知見を蓄積し、社内外に幅広く還元していくことを目的としています。

■本件に関するお問合せ

株式会社サイバーエージェント インターネット広告事業本部 広報

E-mail:honbu_pub@cyberagent.co.jp

■インターネット広告に関するご相談はこちら

・インターネット広告・デジタルマーケティング全般、リテール領域等

<https://www.cyberagent.co.jp/form/id=4>

・DX領域 (DX全般、戦略策定・UIUXデザイン・開発等)

<https://www.cyberagent.co.jp/form/id=268>